

2019年3月期 第2四半期 決算説明会

当社グループは、2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

シスメックス株式会社

代表取締役会長兼社長 CEO 家次 恒 2018年11月8日





本日の内容

Chapter 1 2019年3月期 第2四半期 決算総括

Chapter 2 2019年3月期 業績予想

Copyright© Sysmex Corporation Sysmex Corporation



Chapter 1

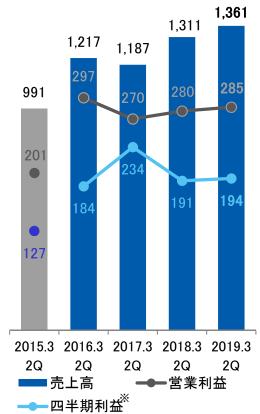
2019年3月期 第2四半期 決算総括

Copyright© Sysmex Corporation Sysmex Corporation

決算総括







※日本基準では親会社株主に帰属する四半期純利益 IFRSでは親会社の所有者に帰属する四半期利益を記載

	2019年3月期 2Q	前年同期
1USD	110.3円	111.1円
1EUR	129.9円	126.3円
1CNY	16.8円	16.4円

Copyright© Sysmex Corporation

	2019年3月期 2Q		前年同	前年同期	
	実績	構成比	実績	構成比	前年同期比
売上高	1,361.9	100%	1,311.0	100%	103.9%
売上原価	596.6	43.8%	565.9	43.2%	105.4%
販売費及び 一般管理費	397.8	29.2%	389.8	29.7%	102.1%
研究開発費	87.6	6.4%	76.7	5.9%	114.1%
その他の営業損益	5.2	0.4%	1.5	0.1%	335.7%
営業利益	285.0	20.9%	280.0	21.4%	101.8%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	194.7	14.3%	191.9	14.6%	101.5%

● 売上高 ヘマトロジーや凝固、ライフサイエンス分野を中心に試薬売上が 伸長し、増収

■ 営業利益 研究開発費が増加するも、増収効果により粗利益が増加し、微増

- 為替の影響

売上高 +4.4億円

営業利益 +0.9億円

- 前年同期為替レート適用の場合

売上高 103.5%

営業利益 101.4%

■ 四半期利益 グループ間の取引通貨(ドル・元等)による為替差損等の影響があるも、税負担率低下等により、微増

● 為替差損益

△13.1億円(前年同期:△1.9億円)

▶ 設備投資(有形) 93.7億円

● 減価償却費

76.2億円

売上高・営業利益の増減要因

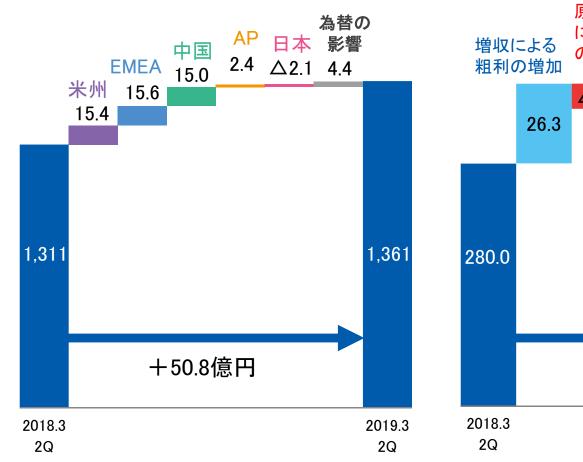


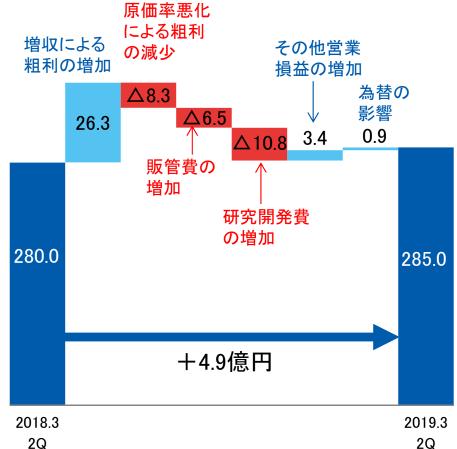
(億円)

売上高

※各地域の売上は為替の影響を除く

営業利益





連結財政状態計算書の増減要因



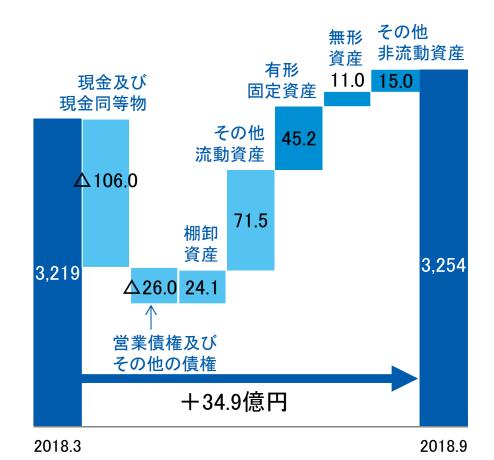
その他資本

(億円)



流動資産 $\triangle 36.3$

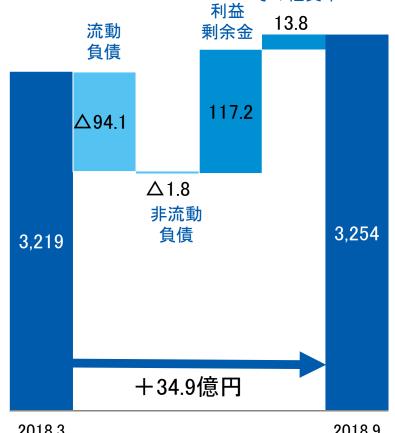
非流動資產 +71.3



負債•資本

負債 $\triangle 95.9$

資本 +130.9



2018.3 2018.9

Sysmex Corporation

キャッシュフローの推移



(億円)

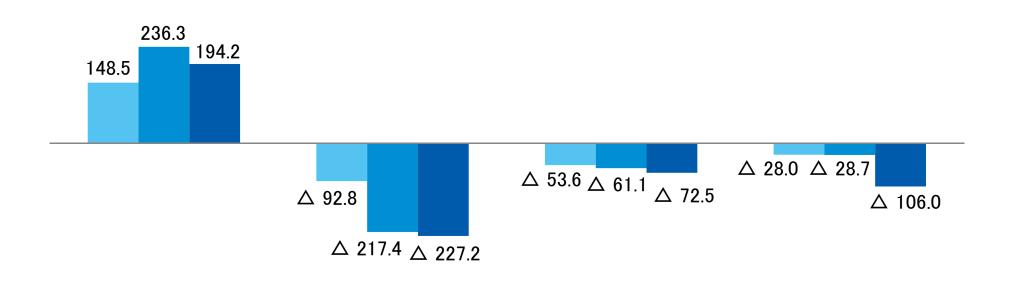
営業活動CF

投資活動CF

■2017.3 2Q累計

財務活動CF

現金及び 現金同等物の純増減額※



※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております

■2019.3 2Q累計

■2018.3 2Q累計

トピックス



*月は当社リリース月に基づく

経営•事業

- エジプトに現地法人を設立し、直接販売・サービスを開始(7月)
- JVCケンウッドとともにクリエイティブナノシステムズ株式会社を共同設立(8月)
- 理研ジェネシスが「Todai OncoPanel」のシークエンス解析を実施(10月)



シスメックス エジプト

製品・サポート

- OSNA™法を用いた「遺伝子増幅検出装置 RD-200」「リノアンプ™ CK19」を発売(5月)
- 敗血症検査項目プレセプシン測定試薬「HISCL™プレセプシン試薬」発売(8月)
- シスメックス アメリカがお客様向けトレーニング施設「Center for Learning」を開設(8月)
- シスメックス パルテックの「CyFlow™ Counter System」がWHO事前認証を取得(8月)
- 凸版印刷・理研ジェネシスと「研究用遺伝子測定装置LW-100」の市場導入を開始(8月)
- 「ノックダウン生産方式」を採用したXSシリーズの中国市場向け製品を発売(9月)

ESG

- 「シスメックス・エコビジョン2025」を策定(5月)
- 「ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・ワールド・インデックス」に3年連続選定(9月)



遺伝子増幅検出装置 RD-200



多項目自動血球分析装置 XSシリーズ XS-500/x



事業別•品目別売上高

			(億円)	2019年3月 実績	期 2Q 構成比	前年同 実績	期 構成比	前年同期比	参考:前年同期比 (前期レート)
			ヘマトロジー	845.1	62.1%	816.0	62.2%	103.6%	103.5%
			尿	94.6	6.9%	99.4	7.6%	95.2%	94.7%
		HU	事業	939.7	69.0%	915.5	69.8%	102.6%	102.5%
			免疫	62.7	4.6%	49.0	3.7%	128.0%	126.9%
			生化学	15.3	1.1%	14.8	1.1%	103.6%	104.0%
			凝固	230.1	16.9%	217.5	16.6%	105.8%	104.9%
事		ICI	Ⅎ事業	308.2	22.6%	281.4	21.5%	109.5%	108.7%
業 別	コア事業		業	1,247.9	91.6%	1,196.9	91.3%	104.3%	104.0%
71.1		FC	M事業	7.1	0.5%	8.2	0.6%	86.8%	86.4%
		LS	事業	46.5	3.4%	34.4	2.6%	135.0%	133.5%
		そ(の他	0.1	0.0%	_	_	_	_
		クス	トコア事業	53.8	4.0%	42.7	3.3%	126.1%	124.3%
	そ	の他	<u>;</u> *	60.1	4.4%	71.4	5.4%	84.2%	84.1%
	売上高 計		新 計	1,361.9	100.0%	1,311.0	100.0%	103.9%	103.5%
	機器			355.1	26.1%	383.3	29.2%	92.6%	92.3%
品目	試	薬		816.1	59.9%	735.1	56.1%	111.0%	110.6%
別	保	守サ	トービス	154.4	11.3%	149.3	11.4%	103.4%	103.4%
	そ	の他	1	36.1	2.7%	43.1	3.3%	83.8%	83.1%

※その他: 臨床検査情報システム、仕入れ商品等

Copyright© Sysmex Corporation

所在地別売上高



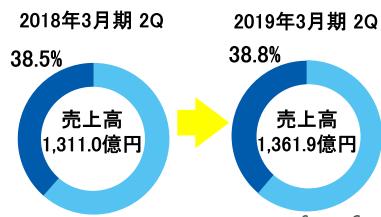
(億円)

							(),6,1 .
		所	在地別	売上高 (外部	売上)		
		2019年3月	月期 2Q	前年	同期	前年	三同期比
		実績	構成比	実績	構成比	円	現地通貨
売上	- 高	1,361.9	100%	1,311.0	100%	103.9%	-
	米州	292.5	21.5%	286.1	21.8%	102.2%	103.0%
所	EMEA	370.0	27.2%	347.1	26.5%	106.6%	103.7%
所在地	中国	361.7	26.6%	340.4	26.0%	106.2%	104.2%
別	AP	114.8	8.4%	114.1	8.7%	100.6%	(101.7%)
	日本※	222.8	16.3%	223.1	17.0%	99.9%	_

※IDEXX社等含む外部売上

為替レート 2019年3月期 2Q 前年同期 1USD 110.3円 111.1円 1EUR 129.9円 126.3円 1CNY 16.8円 16.4円

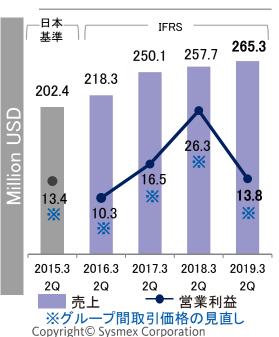
● 新興国の売上高比率





米州における取り組み(所在地別)





	2019年3月期	前年同期	前年	同期比
(億円)	2Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	292.5	286.1	102.2%	103.0%
営業利益※	15.2	29.2	52.2%	52.6%

- 米国でのヘマトロジー試薬や凝固機器の売上および中南米での 尿新製品の売上が伸長し、増収
- グループ間取引価格の見直しや販管費およびサービスコスト増加の 影響が増収効果を上回り、減益

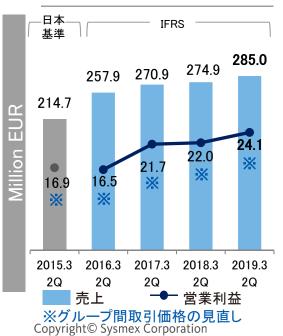
現地通貨ベース

- 米国 設置台数増加によるヘマトロジー試薬および凝固機器の売上が伸長し、 増収
- 中南米 ブラジルを中心に尿新製品の売上が伸長するも、ヘマトロジー機器の 売上減少が引き続き影響し、減収



EMEAにおける取り組み(所在地別)





EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域

	2019年3月期	前年同期	前年	同期比
(億円)	2 Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	370.0	347.1	106.6%	103.7%
営業利益※	31.3	27.8	112.5%	109.4%

- 新興国通貨安の影響があるも、ヘマトロジーやライフサイエンス分野の 売上が伸長し、増収
- 増収効果による粗利益の増加や、グループ間取引価格の見直し等により 原価率が改善し、増益

現地通貨ベース

- 主要5カ国 ヘマトロジー分野の売上が伸長したフランス、ライフサイエンス 分野の新製品売上が伸長したスペインが貢献し、増収
- **東欧・ロシア** ロシアではルーブル安の影響があるも、凝固分野の伸長等が 貢献し、増収
- 中東・アフリカ 主にアフリカのブルキナファソにおけるヘマトロジー試薬売上が 伸長し、増収









Copyright© Sysmex Corporation

	2019年3月期	前年同期	前年同	期比
(億円)	2Q		(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	361.7	340.4	106.2%	104.2%
営業利益※	55.4	36.8	150.6%	147.6%

- 機器売上が減少するも、好調な免疫分野の伸長に加え、ヘマトロジーや 凝固分野の試薬売上が伸長し、増収
- グループ間取引価格の見直しによる影響はあるも、試薬売上の伸長などによる原価率改善が貢献し、大幅増益

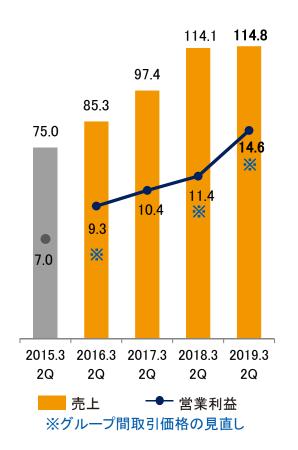
•	ヘマトロジー分野	機器売上が減少するも、好調な試薬売上の伸長により、 増収
•	凝固分野	堅調な線溶系試薬売上の伸長により、増収
•	尿分野	前年同期の新製品初期需要の影響により、機器売上が 減少し、減収
•	免疫分野	設置台数増加にともない、感染症試薬を中心に試薬売上が 伸長し、増収

Sysmex Corporation





	億円	
—日本— 基準	—— IFRS —	



(億円)	2019年3月期 2Q	前年同期	前年同期比
売上高	114.8	114.1	100.6%*
営業利益※	14.6	11.4	127.8%

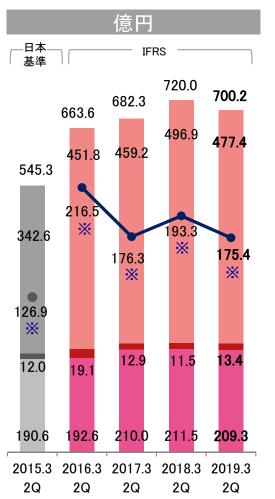
- 前年同期の南アジアでの大型入札案件の影響があるも、東南アジアや 台湾、韓国での売上が伸長し、横ばい
- グループ間取引価格の見直しや販管費増加の影響はあるも、 試薬売上の伸長等により原価率が改善し、増益

* 域内通貨による為替の影響を除外した場合:売上 101.7%

- 東南アジア タイ等においてヘマトロジー分野を中心に伸長し、増収
- **南アジア** 前年同期のインド、バングラデシュにおける大型案件の影響 により、減収
- 台湾・韓国 台湾、韓国においてヘマトロジー分野の売上が伸長し、増収



日本における取り組み(所在地別)



- 内部売上高:関係会社への輸出等
- 外部売上高:IDEXX社等
- 外部売上高:日本
- → 営業利益

※グループ間取引価格の見直し

(億円)		2019年3月期 2Q	前年同期	前年同期比
売上高		700.2	720.0	97.3%
外部		222.8	223.1	99.9%
_	日本	209.3	211.5	99.0%
_	IDEXX社等	13.4	11.5	116.1%
内部		477.4	496.9	96.1%
営業利:	益※	175.4	193.3	90.7%

- 国内での試薬売上およびIDEXX社向け売上が伸長するも、 ビオメリュー社との合弁解消や海外関係会社向けの売上が減少し、減収
- 研究開発費の増加に加え、海外関係会社向け売上の減少が影響し、 減益
 - ・ **日本** ヘマトロジー、免疫、ライフサイエンス分野を中心に伸長するも、 ビオメリュー社との合弁解消の影響により、減収
 - **IDEXX社等** IDEXX社向けの動物用へマトロジー機器売上が増収



Chapter 2

2019年3月期 業績予想

Copyright© Sysmex Corporation Sysmex Corporation

連結 通期業績予想

※2018年5月公表より修正



()内は2018年5月公表数値

2019年3月期 連結業績予想

売上高 3,000**億円** (3,100**億円**)

営業利益 590億円 (620億円)

営業利益率 19.7% (20.0%)

親会社の所有者に帰属する当期利益 395億円(425億円)

当期利益率 13.2% (13.7%)

投資計画

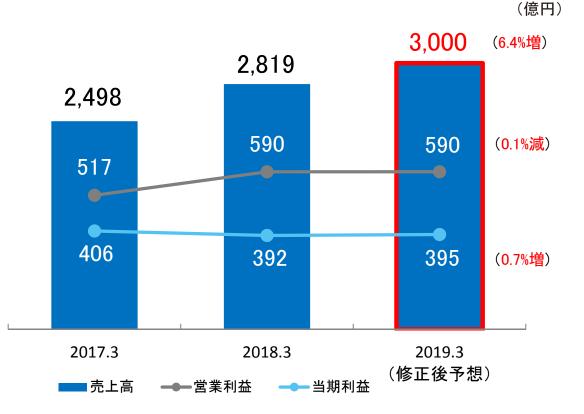
設備投資 240億円

減価償却費 170億円

研究開発費 195億円

● 想定為替レート

	通期 (18年5月公表)	通期 (18年11月修正)	下期 (18年11月修正)	前期実績 (18年3月期)
1 USD	110.0円	110.1円	110.0円	110.9円
1 EUR	130.0円	129.9円	130.0円	129.7円
1CNY	16.5円	16.6円	16.5円	16.8円



業績予想修正



前回予想との差異	(億F	円)
	\ [记·]	

前回予想 (2018年5月公表)		今回予想 (2018年11月修正)		増減額	前期実績 (2018年3月期)		伸長率	
		構成比		構成比			構成比	
売上高	3,100	100.0%	3,000	100.0%	△100	2,819	100.0%	+6.4%
営業利益	620	20.0%	590	19.7%	△30	590	21.0%	△0.1%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	425	13.7%	395	13.2%	Δ30	392	13.9%	+0.7%

● 想定為替レート 通期 (2018年5月公表)		迪 别	通期 (2018年11月修正)	下期 (2018年11月修正)	前期実績 (2018年3月期)	
	1USD	110.0円	110.1円	110.0円	110.9円	
	1EUR	130.0円	129.9円	130.0円	129.7円	
	1CNY	16.5円	16.6円	16.5円	16.8円	

● 修正の理由

主に国内売上およびEMEA地域の売上高が前回予想を下回ったこと、また売上高が前回予想を下回ったことによる利益影響や為替差損の計上等により、売上高、営業利益、税引前利益、当期利益が前回予想を下回る事になったため。

通期業績予想修正(所在地別)



(億円)

		前回予想 (2018年5月公表)	今回予想 (2018年11月修正)	増減額 (対前回予想)	増減率 (対前回予想)	前期実績 (2018年3月期)
売	上高	3,100	3,000	△100	△3.2%	2,819
	米州	685	666	△19	△2.8%	625
元	EMEA	837	797	△40	△4.8%	755
所 在 地 別	中国	810	800	△10	△1.2%	720
ניל	AP	269	252	△17	△6.3%	244
	日本	499	485	△14	△2.8%	474

	通期 (2018年5月公表)	通期 (2018年11月修正)	下期 (2018年11月修正)	前期実績 (2018年3月期)
1USD	110.0円	110.1円	110.0円	110.9円
1EUR	130.0円	129.9円	130.0円	129.7円
1 CNY	16.5円	16.6円	16.5円	16.8円

機器売上の減少要因と対策



主な要因

ヘマトロジー

- ・機器買い替えサイクルの長期化
- 新製品の不具合対応による市場導入遅れ (塗抹標本作成装置、XW-100)
- ・中国における現地企業との競争激化

尿

- ・UNシリーズの米国市場導入遅れ
- アライアンスパートナーの販売低下 (イギリス, フランス)

凝固

- ・アライアンスパートナーの販売低下 (主にEMEA)
- 中国での販売台数減少

FCM

・EHC製品のWHO-PQ取得遅れ

その他(特殊要因)

- ・ビオメリュー社との合弁解消の影響
- ・仕入れ商品等の売上減少(主CEMEA)

対策

機器買い替え需要の促進

- ・XN(New Function+Caresphere™接続)による付加価値の提供
- ・ 次世代機開発の加速

新製品の市場販促強化

- ・搬送製品(XN-1500:塗抹標本作成装置付き)による競争力強化(中国)
- · XW-100の販売再開(米国)

中国市場での販促強化

・ノックダウン生産品の拡充および中下位市場への参入

薬事申請活動および販売体制の強化

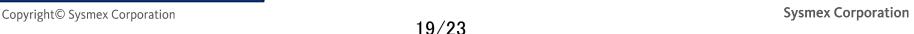
- ・尿定性検査装置UC-3500のFDA認可取得活動の継続(米国)
- ・フランス、イギリスにおける直接販売・サービスの開始(2018年下期開始)

販売活動の強化

- ・アライアンスパートナーとの販売対策協議
- 中国販促活動強化へ向けた代理店との協議等

FCM分野の販促強化

・WHO-PQ(事前認証)の取得による販促強化(2018年8月取得済み)



CaresphereTM

新たなネットワークソリューションの提供



インプット

医療情報システム 電子カルテ等

検査室

ヘマトロジー (XN New Function等)

血液凝固

その他分野

※ヘマトロジー以外の機器 にも順次適用拡大

測定結果

精度管理 データ

装置ログ

検査 運用記録 データ集計・管理・分析

Caresphere

データを価値ある情報へ変換 (新たなビジネスモデル)

アプリケーション

を 検査室 マネジメント 品質 マネジメント

オペレーションマネジメント

臨床支援

- ※ 順次アプリケーションを追加
- ※ アプリは種類によって有償化(課金など)



プラットフォーム

IoTやクラウドを活用したグローバルで 標準化されたプラットフォーム 提供価値

医療コスト削減 (検査室の生産性向上等)

患者さんの負担軽減 (待ち時間短縮等)

診断精度の向上 (臨床への示唆)

医療連携の実現 (検査データの標準化)





年初予想から変更なし

	中間	期末	年間	配当性向
2019年3月期 年初予想	34円	34円	68円	35.9%

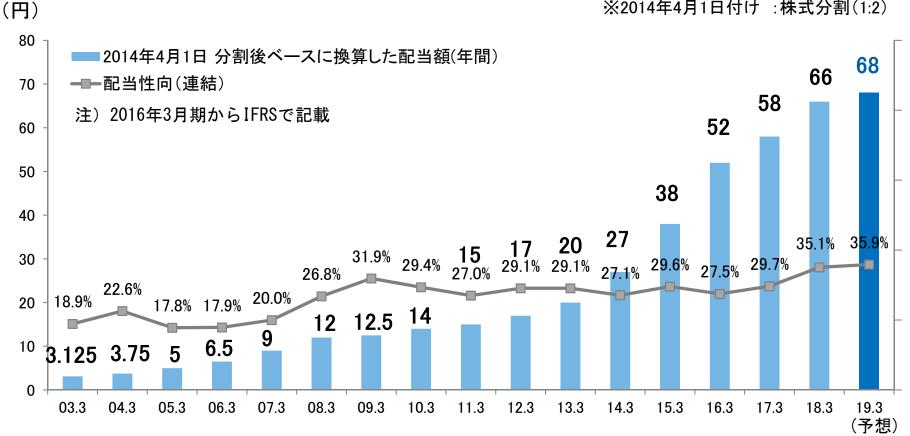


配当:17期連続の増配(2019.3期予想)

シスメックスは、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う 株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。 株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配 分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

> ※2005年11月18日付け:株式分割(1:2) ※2011年4月1日付け:株式分割(1:2)

※2014年4月1日付け:株式分割(1:2)



Sysmex Corporation

Lighting the way with diagnostics

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

シスメックス株式会社

<お問合せ先> シスメックス株式会社

コーポレートコミュニケーション本部

IR·広報部

電話:078-265-0500

メールアドレス: info@sysmex.co.jp

www.sysmex.co.jp